



平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月29日

上場取引所 東

上場会社名 パーク24株式会社

コード番号 4666 URL <http://park24.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 光一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 佐々木 賢一

TEL 03-3213-8900

四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	80,932	9.5	8,683	△1.5	8,675	△0.9	5,322	10.1
25年10月期第2四半期	73,895	9.9	8,815	9.1	8,750	11.5	4,832	13.1

(注) 包括利益 26年10月期第2四半期 5,393百万円 (6.1%) 25年10月期第2四半期 5,084百万円 (31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	36.76	34.66
25年10月期第2四半期	33.54	31.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第2四半期	127,113	55,205	43.2
25年10月期	126,574	54,968	43.1

(参考) 自己資本 26年10月期第2四半期 54,873百万円 25年10月期 54,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年10月期	—	0.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	8.1	21,700	11.2	21,500	10.2	12,700	12.8	87.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年10月期2Q	151,728,404 株	25年10月期	150,790,504 株
26年10月期2Q	6,620,977 株	25年10月期	6,460,897 株
26年10月期2Q	144,786,855 株	25年10月期2Q	144,058,409 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年11月1日～平成26年4月30日)におけるわが国経済は、製造業を中心とする業況感の改善等により設備投資や生産、雇用が緩やかに回復しているものの、個人消費については一部に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減による弱い動きもみられております。建設工事費や資源価格の上昇、中国などの新興国を中心とした海外景気の下振れリスク等もあり、その先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、「駐車場事業」においては収益のベースとなる総運営件数・台数の拡大に、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスにおけるサービス品質の向上、カーシェアリングサービスにおける規模拡大と収益化に取り組んでまいりましたが、2月に発生した記録的大雪による道路交通量の極端な減少に伴い、「駐車場事業」「モビリティ事業」共に事業環境は一時的に悪化しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は809億32百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益86億83百万円(同1.5%減)、経常利益86億75百万円(同0.9%減)、四半期純利益53億22百万円(同10.1%増)となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「駐車場事業」

今期より導入した細分化した地域ごとに開発と運用を1ユニットで営業活動するエリア制への体制変更、商業施設のアウトソーシング需要の取込などにより、駐車場開発は半期ベースでは過去最高件数となり、当四半期連結累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営件数は13,413件(前連結会計年度末比105.0%)、運営台数は453,444台(同105.2%)、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は14,865件(同104.7%)、総運営台数は557,168台(同104.2%)となりました。

またその体制により、直近の利用データのみならず将来の周辺環境変化に応じたきめ細かい運営施策を行うことで収益力の向上を図ったものの、記録的大雪に伴う交通量の減少のほか消費増税後の消費者マインドの一時的低下等の要因もあり、当事業の売上高(セグメント間の内部売上高を含む)は629億55百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は121億72百万円(同1.2%増)となりました。

「モビリティ事業」

レンタカーサービスについては、お客様サービス品質の向上、Web予約や法人向け営業の強化等に努めております。また、カーシェアリングサービスについては、大切にご利用頂いている会員様への優遇サービスを開始するとともに、運用システムの改善と配備車輛の増加等によりさらに利用しやすい環境作りをすすめたほか、バックヤード機能の充実を図ることで車両メンテナンス費用及び不稼働時間の低減を図っております。

この結果、モビリティ事業全体の当四半期連結累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比105.4%の34,739台(うち、カーシェアリングサービスの車両台数は8,533台)となり、当事業の売上高(セグメント間の内部売上高を含む)は180億55百万円(前年同期比19.8%増)、営業損失は1億12百万円(前年同期は1億60百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5億38百万円増加して1,271億13百万円となりました。これは主として機械装置及び運搬具、リース資産等の有形固定資産が9億52百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、同3億1百万円増加し、719億7百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加2億円、資産除去債務の増加2億20百万円などによるものです。

純資産は、四半期純利益の計上により53億22百万円、ストック・オプションの行使による新株の発行により10億19百万円増加したほか、利益剰余金の配当により57億73百万円減少したことなどにより、同2億37百万円増加し552億5百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて31億2百万円減少し、122億7百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、144億31百万円(前年同期比53億67百万円の増加)となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益174億31百万円に対し、法人税等の支払額44億37百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、93億3百万円(前年同期比26億52百万円の増加)となりました。これは主として、タイムズ駐車場の開設や営業車両の取得に伴う、有形固定資産の取得による支出68億円、長期前払費用の取得による支出14億63百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、82億32百万円の資金の支出(前年同期比137億30百万円の支出の増加)となりました。これは、短期借入金の純増30億円、長期借入れによる収入14億円、株式の発行による収入が8億35百万円あった一方、配当金の支払額57億68百万円、長期借入金の返済55億83百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の連結業績予想につきましては、「平成25年10月期 決算短信」(平成25年12月16日付)で公表した数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以降に開始する連結会計年度から復興特別法人税率が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来の38.0%から35.6%に変更されることとなります。なお、この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,326	12,223
受取手形及び売掛金	6,710	6,791
たな卸資産	692	762
その他	10,018	11,438
貸倒引当金	△24	△28
流動資産合計	32,722	31,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,194	12,156
機械装置及び運搬具(純額)	25,271	25,402
土地	24,303	24,303
リース資産(純額)	12,627	13,255
その他(純額)	3,798	4,029
有形固定資産合計	78,195	79,147
無形固定資産		
のれん	1,355	1,176
その他	1,191	1,448
無形固定資産合計	2,546	2,625
投資その他の資産	13,110	14,152
固定資産合計	93,852	95,925
資産合計	126,574	127,113
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	492	692
短期借入金	8,666	8,418
未払法人税等	4,411	3,505
賞与引当金	1,139	1,132
引当金	102	49
その他	17,074	18,957
流動負債合計	31,885	32,755
固定負債		
新株予約権付社債	21,000	21,000
長期借入金	5,372	4,437
退職給付引当金	691	699
引当金	278	—
資産除去債務	4,033	4,253
その他	8,344	8,762
固定負債合計	39,721	39,152
負債合計	71,606	71,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,675	8,185
資本剰余金	9,428	9,938
利益剰余金	47,878	47,427
自己株式	△9,343	△9,652
株主資本合計	55,639	55,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	76
土地再評価差額金	△1,052	△1,052
為替換算調整勘定	△113	△48
その他の包括利益累計額合計	△1,096	△1,024
新株予約権	425	331
純資産合計	54,968	55,205
負債純資産合計	126,574	127,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	73,895	80,932
売上原価	53,412	59,510
売上総利益	20,482	21,421
販売費及び一般管理費	11,666	12,738
営業利益	8,815	8,683
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	12	18
駐車場違約金収入	23	37
未利用チケット収入	70	83
為替差益	131	19
その他	46	77
営業外収益合計	288	239
営業外費用		
支払利息	132	57
駐車場解約費	174	178
その他	46	11
営業外費用合計	353	247
経常利益	8,750	8,675
特別損失		
固定資産除却損	12	23
ブランド変更費用	801	—
特別損失合計	814	23
税金等調整前四半期純利益	7,936	8,652
法人税、住民税及び事業税	3,012	3,320
法人税等調整額	91	10
法人税等合計	3,103	3,330
少数株主損益調整前四半期純利益	4,832	5,322
四半期純利益	4,832	5,322

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,832	5,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	6
為替換算調整勘定	76	6
持分法適用会社に対する持分相当額	135	58
その他の包括利益合計	251	71
四半期包括利益	5,084	5,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,084	5,393

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,936	8,652
減価償却費	7,787	8,779
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△58	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	△270
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	132	57
固定資産除却損	12	23
売上債権の増減額(△は増加)	105	△80
たな卸資産の増減額(△は増加)	273	1,034
仕入債務の増減額(△は減少)	△547	200
未収入金の増減額(△は増加)	309	△1,081
前払費用の増減額(△は増加)	△31	△89
未払金の増減額(△は減少)	△1,341	988
設備関係支払手形の増減額(△は減少)	△67	△29
その他	1,629	749
小計	16,132	18,923
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△137	△57
法人税等の支払額	△6,935	△4,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,063	14,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
定期預金の払戻による収入	6	6
有形固定資産の取得による支出	△4,235	△6,800
有形固定資産の売却による収入	11	24
無形固定資産の取得による支出	△224	△216
投資有価証券の取得による支出	—	△500
投資有価証券の売却による収入	3	—
長期前払費用の取得による支出	△2,033	△1,463
その他	△172	△347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,650	△9,303

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△296	3,000
長期借入れによる収入	1,700	1,400
長期借入金の返済による支出	△9,731	△5,583
リース債務の返済による支出	△1,516	△1,807
新株予約権付社債の発行による収入	20,000	—
株式の発行による収入	380	835
自己株式の取得による支出	—	△309
配当金の支払額	△5,038	△5,768
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,497	△8,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,961	△3,102
現金及び現金同等物の期首残高	12,028	15,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,989	12,207

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,843	15,051	73,895	-	73,895
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	13	72	72	-
計	58,902	15,065	73,967	72	73,895
セグメント利益又は損失()	12,028	160	11,867	3,051	8,815

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 3,051百万円には、のれんの償却額 178百万円、全社費用 2,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,894	18,038	80,932	-	80,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	17	77	77	-
計	62,955	18,055	81,010	77	80,932
セグメント利益又は損失()	12,172	112	12,059	3,376	8,683

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 3,376百万円には、のれんの償却額 178百万円、全社費用 3,198百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。